

発行
四国三十六不動霊場会
「かんまん」編集委員会

メール
sikoku36fudo@gmail.com

ホームページ
http://sikoku36fudo.org/

かんまん

題字：三宅 佳林

四国三十六不動霊場広報誌

目次

1P
行事案内・新会長挨拶

2P
各会長ご挨拶

3P
火祭り・寺院紹介

4P
新役員・先達紹介
編集後記

※各行事につきまして、新型コロナウイルスの感染状況によっては、直前の変更もございます。ご迷惑・ご不便をおかけ致しますが、詳細や時間等はホームページやFacebook okでのお知らせを随時ご確認いただけますようお願い致します。

令和六年不動の火祭り
日時 令和六年三月十日(日)
場所 第四番 箸蔵寺
※詳細などは追ってホームページで公開致します。

先達研修会
日時 令和五年十一月二十九日
場所 ホテルグランフォーレ

第一部 開会式・先達研修
午前十時より

第二部 特別講演
午後一時半より

行事案内

この度、四国三十六不動霊場の寺院各位よりご推挙いただき、会長職を三年間務めさせて頂くこととなりました。

三年余に及ぶ世界規模で未曾有の新型コロナウイルス禍は日本にも甚大な被害を与え、社会生活に大きな傷と変革をもたらしました。

最近ようやく社会活動が再開されるところまで回復してまいりましたが、奇しくも、令和六年は不動霊場、開創三十六周年の記念すべき年であります。

巡拝者の皆さまが、お不動様の大威力によるご加護とご霊験により『活かされている』という実感を得られる霊場であることとを再確認してもらえよう取り組んでまいります。

その為の記念事業として、三十六周年、不動の火祭りを始め六波羅蜜修行道場として、巡

霊場新会長 近藤 靖典
(第五番 密厳寺)

新会長挨拶

者の方が誰でも参加できる六波羅蜜修行特別護摩祈禱、三十六童子お砂踏み道場(室内)開設等を企画しております。

霊場発展の為、霊場新役員、霊場寺院、そして先達会長始め先達新役員、先達会の皆さまの全面的なご協力をいただき、多くの巡拝者をお迎え致したいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌



【護摩祈禱】



【展望台】



【境内】

合掌

四〇〇年のケヤキ、四国最大級、総高3、7mの造営、平成二十二年、八角不動堂落慶、寿山峡展望台、ボタン園(七百株、一〇〇種)等々、当寺院なりに参拝者の皆様をお迎えする大方の整備ができてまいりました。「真心で人に接してカンマンボロン」を旨としています。どうぞご参拝ください。

新役員紹介

- 会長 第五番 密厳寺
- 事務局 第二番 明王院
- 会計 第十三番 密厳寺
- 先達寺務 第二十六番 仙龍寺
- 営業企画 第二十三番 極楽寺
- 開発推進企画 第六番 不動院

新任先達紹介

新しく先達になられた方の名前を記載させていただきます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

- 高橋 陽一郎
板倉 益弘
川端 康夫
河田 英美
荒木 隆弘
荒木 智真
小暮 雅明
武田 夫佐栄
田淵 友博
三木 仁志
山口 靖文
山口 恵子
山藤 正美
齋藤 洋子
小俣 斗志夫
川畑 一之代
多田 和歌代
片桐 宏明
安富

編集後記

巡拝感想並びに功德の体験など皆様それぞれのお不動様のお話を是非お聞かせくださいませ。頂いた内容はこのページに掲載させていただきます。

事務局

胸飾玉・念珠玉の親玉(不動玉)授与所は、令和5年10月より下記札所に変更となっておりますのでご注意ください。

第2番 明王院(霊場会事務局)
TEL0883-35-3010
先達関係のお問い合わせ(補任・住所変更など)は下記までお願いします。

第26番 仙龍寺(霊場会先達事務)
TEL0896-72-2033

Email sikoku36fudo@gmail.com
FAX 0883-52-1594
「かんまん編集委員会」
三番最明寺・七番福性寺

前会長挨拶

霊場前会長 荒井浩忍
(第二十二番 興隆寺院家)

青々とした葉は暑さにも負けず当然の如く季節の始まりを蟬の鳴き声と共に告げ、ふと外に目を向けてみると葉は少しづつ色を変え、季節の終わりと始まりを知らせて下さっております。時が経つのも早いもので四国三十六不動霊場会の会長を務めさせて頂きましてもう三年になり、任期を終えさせて頂くと共に、支えて下さりました霊場会寺院様・先達会長様・副会長様・先達様には深く感謝とお礼を述べさせて頂きます。

新型ウイルスにより通常とは異なる柔軟な対応が求められ、一人の力では到底乗り越える事の出来ない状況でしたが、皆様のお力添えのおかげで一歩一歩ではありましたが無事に乗り越えられた事は霊場会にとって大

不動の火祭り

令和五年七月十四日(金)会場屏風浦海岸寺において、四国別格二十霊場、四国三十六不動霊場の合同による弘法大師御誕生千二百五十年記念慶讃法会が厳修されました。

会場が海辺ということもあり、前日準備には強風が吹いておりましたが、一同の願いが通じ、大祭当日は風も収まって、大祭日和となりました。

御影堂では式衆と参拝の方々が一体になってお経をお唱えし、外まで大きな声が響き渡っております。火祭りにおいては、沢山の出店があったマルシェの通りを進列し、厳かな雰囲気の中にも心地良い浜風が感じられ、無事成満の運びとなりました。

平日にも関わらずコロナ禍が始まって以来、大勢の参拝者の方々にお参りいただき、とても良い火祭りとなりました。ご報告申し上げます。

ご協力、ご参加いただきました皆さまへ、改めて心から御礼申し上げますとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

きな糧となりました。海岸寺様で執り行われた弘法大師誕生千二百五十年記念法会でご協力を賜りました別格二十霊場様・先達様・業者様には当日は猛暑の中にも関わらずご助力頂けたこと感謝申し上げます。寒くなつてきておりますので体調には十分注意してお過ごし下さいませ。

合掌



新先達会長挨拶

新先達会長 阪本 妙節

菊香かおる好時節、各任職様にはますますご清栄のことと存じます。今般ご推挙に与り、新役員先達会長を仰せつかりました阪本妙節でございます。何卒宜しくお願い申し上げます。コロナ禍を超え、平常の生活に戻りつつあるものの、まだまだという感があるなか、霊場興隆のため、また不動明王信仰発揚のために御尽力を賜り有難く存じます。

私儀、非力ながら霊場会が目標に定めた六波羅蜜行、布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧の六つの行、そして三十六童子のそれぞれの教えを四国三十六不動霊場参拝にて、菩提心を念ずれば煩惱や執着は消えていき、多くの功德を得られることを皆様に広めて参りたく思っております。

これから三年間、誠心誠意修行を致します。皆様からのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

前新先達会長挨拶

前新先達会長 松本 剛

紅葉の季節を迎え、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

令和二年より務めてまいりました先達会会長を九月三十日の任期満了をもち、退任致しました。皆様のおかげを持ちまして任期を全う出来ました。

在任中の三年間は、例年大勢のご参拝を以て行われる火祭りも、コロナの影響で十分に行うことのできない時期でございました。しかしながら、皆様ご祈念帳を集めてくださり、無参拝ながらも途切れることなく開催することができましたことを改めて深く御礼申し上げます。

皆様のご協力を賜り、昨年は先達の方々と共に火祭りを行うことが出来ました。今年度も多くの先達様にご参加いただき、盛大な火祭りが開催されまことを御祈念申し上げますとともに、またお目にかかれず事を楽しみに致しております。立場は変わりますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。向寒の折柄、皆様ご自愛ください。



【進列の様子】



【火渡り】



【御影堂】



【集合写真】

慶讃法会(御影堂)



慶讃法会(柴燈護摩)



チャンネル登録はこちら



「四国三十六不動霊場」で検索

寺院紹介

第五番 密厳寺

真言宗 御室派

当山は、弘仁元年(八一〇)弘法大師の開基にして、ご本尊は聖観音菩薩、脇仏、不動明王は、弘法大師の「爪彫り」の作にして崇め奉り、また、白地、大西城主の祈願寺として名高く、永祿年間(一五六〇年頃)城主大西覚養より大般若経六〇〇巻が寄進されています。

天正の兵火では長宗我部元親との戦いで、白地城、落城、三好郡内の多くの寺院は戦火で消失し、当寺院も同様でありました。その後、法印権大僧都真海上人により発願、再興され、爾来、今日まで歴代の住職により連綿と法灯を続けてまいりました。

時代は移り、平成元年、四国三十六不動霊場 第五番札所となり、境内整備を計画。平成八年、新本堂落慶、鐘楼堂完成、弘法大師爪彫り不動尊のお前立、不動明王三尊(樹齡